

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科		医療心理科		科 目 区 分		専門分野		授業の方法		講義	
科 目 名		心理特論IX		必修/選択の別		必修		授業時数(単位数)		30 (2) 時間(単位)	
対 象 学 年		3年		学期及び曜時限		前期 火曜3限		教室名		PCルーム	
担 当 教 員		BSC		実務経験と その関連資格							
《授業科目における学習内容》											
この授業では、これからの社会生活に必要とされるデータサイエンスの知識・技能のうち、基礎的な統計手法について、Excelを用いてを習得する。											
《成績評価の方法と基準》											
出席(20%)、平常点(10%)、課題・小テスト点(70%)											
《使用教材(教科書)及び参考図書》											
「コンピュータキャリアトレーニング」※イーラーニングコンテンツ 対面授業、オンライン(ライブ)、オンデマンドの3つの授業形態(ハイフレックス型授業)で、テキストや動画を見ながら学生が独学できるようデザインされた教材です。講義は基礎分野と応用分野に分類されています。											
《授業外における学習方法》											
自宅等にインターネットにつながったPCがあれば、イーラーニングで自習できます。 欠席した場合は次の週までに課題を済ませて下さい。											
《履修に当たっての留意点》											
出席することが一番重要ですので、欠席しないように受講してください。											
授業の 方法		内 容					使用教材		授業以外での準備学習 の具体的な内容		
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel復習(1)				Excel復習(1)	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	Excel復習の実施								
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	Excel復習(2)				Excel復習(2)	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	Excel復習の実施								
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	目的に合ったグラフを選択し、作成することができる				Excel応用D グラフ応用	タイピング練習をすることで予習復習を行う。			
		各コマにおける授業予定	折れ線グラフ/複合グラフ/100%積み上げグラフ/レーダー/スパークライン								
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	AIブームの背景を知り、実際に体験を通して理解することができる				AI機械学習	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	AIブームの歴史/ディープラーニング/教師あり学習・教師なし学習/予測・分類・クラスタリング/機械学習体験								
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を数値化できる (平均、分散、標準偏差)				初級データサイエンス(統計編)1	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。			
		各コマにおける授業予定	平均と分散の意味と求め方/標準偏差の意味と求め方								

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる1（基本統計量を求める、ヒストグラムの作成）	初級データサイエンス(統計編)2	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	分析ツールの使用/基本統計量の算出/度数分布表(ヒストグラム)の作成/標準偏差のグラフ図示		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	データの特徴を視覚化できる2（散布図、相関係数を求める）	初級データサイエンス(統計編)3	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	散布図を作成し、相関関係の有無を視覚的に表す/相関係数の算出		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計的検定を実施できる	初級データサイエンス(統計編)4	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	母集団・標本・抽出について/統計的検定の手法について/t検定(一対の標本、等分散、不等分散)/F検定		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	統計的手法を選択して利用できる	初級データサイエンス(統計編)5	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	データの分類(質的データ、量的データ)、検定後の結論の書き方、統計手法の復習		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	分散分析の意味とその使い分けについて理解できる	初級データサイエンス(統計編)6	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	1元配置の分散分析(対応のない因子の場合)/2元配置の分散分析(対応のある因子の場合)/独立性の検定(カイ2乗検定)/死亡率・生存率・罹患率の算出		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	重回帰分析の意味を理解できる	初級データサイエンス(統計編)7	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	重回帰分析/復習(相関・度数分布表(ヒストグラム)・t検定)		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	初級データサイエンス(統計編)で習ったことを実践できる	初級データサイエンス(統計編)まとめ	イーラーニングテキストでこれまでの講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	初級データサイエンス(統計編)復習問題の実施		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	初級データサイエンス(統計編)復習(1)	初級データサイエンス(統計編)復習(1)	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	初級データサイエンス(統計編)復習の実施		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	初級データサイエンス(統計編)復習(2)	初級データサイエンス(統計編)復習(2)	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	初級データサイエンス(統計編)復習の実施		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	初級データサイエンス(統計編)復習(3)	初級データサイエンス(統計編)復習(3)	イーラーニングテキストで講義の内容を確認しておくこと。
		各コマにおける授業予定	初級データサイエンス(統計編)復習の実施		